

若手職員座談会

令和5年度実施

日高市に新卒で入庁した
職員4名に話を聞きました



参加職員

福田 主事補
市政情報課
DX推進担当
令和2年度採用

松尾 主事補
子育て応援課
子育て応援担当
令和4年度採用

諸井 主事
生涯学習課
市民スポーツ担当
令和4年度採用

佐藤 保育士
子育て応援課
高麗保育所
令和5年度採用

☞参加者個人の紹介は職員紹介をチェック！

学生時代にイメージしていなかった職場の風習は？

松尾：決裁で印鑑を押すことですかね。今まで宅配便が来た時くらいしかハンコを押したことがなかったので、こんなに押すんだって驚いちゃいました。初めはなかなか慣れませんでしたね。

福田：確かに印鑑って、日に何度も押しますよね。この数年で、今まで人生で押してきた何十倍も押している気がします。



諸井：私は、市役所って市民の方がたくさん訪れるイメージを持っていたんですけど、実際働き始めたら想像と少し違いました。私の所属が5階の教育委員会だからか、絶えず人が来るというほどではなくて。部署によって違うんだと、少し驚きましたね。

松尾：確かに。5階に用事がある人は、1階に比べれば少ないかもしれないですね。私は日高市民ですけど、市民としても、職員になってからも、数えるくらいしか5階に行ったことないかもしれないです…。

佐藤：僕は学生の頃、保育日よりや掲示物は全て手書きで作るものだと思込んでいたんですけど、実際はパソコンの作業が意外と多くて。イラストとか文字を書くのはあまり得意ではないので、パソコンが使える環境が整っていてよかったと思っています。

福田：僕の担当で用意したパソコンですね。使ってもらえているようで嬉しいです。

これ職業病だなと思うことは？

福田：僕は、入庁してすぐにお世話になった先輩から、わからないことはまず何でもインターネットで調べようと教わったので、私生活でも気になることはすぐインターネットで調べちゃいますね。

松尾：私は医療費を担当しているので、出かけた先で見かける病院の看板がすごく気になりますね。あとは普段電話応対が多いので、職場と同じ呼び出し音の電話になった時は、

早く電話に出なければってソワソワしちゃいます。



諸井：休日でも仕事のことが気にかかるの、すごくわかります。私の担当ではツーデーウォークなどのスポーツイベントを開催しているんですけど、ニュースで大きなイベントの映像を見ると、準備大変だったんだろうなとか、この大人数をまとめるなんてすごいなって。そういう気持ちになっちゃいますね。

佐藤：僕の勤務先は保育所なので、お仕事の日はお昼を11時頃に食べるんです。だから休日も、その頃におなか空くようになっちゃいましたね。

入庁前に準備したことと、やっておいた方がいいことは？

福田：車の免許取得ですね。僕は社会人になったら、絶対に車通勤する

と心に誓っていたので、入庁前は教習所に通っていました。いざ入庁したら、公用車に乗る機会も結構あるので、時間がある学生の間で取得しておいてよかったと思っています。

松尾：私も同じですね。もともと入庁前に必ず免許を取ろうと思っていたんですけど、採用面接の時に「免許を取る予定はありますか」って聞かれたので、やっぱり必要なんだなって。絶対ではないですけど、あった方がいいですよ。

諸井：あとは運転に慣れておいた方がいいですね。私は免許を取った後、全然運転してなくて。入庁前に練習はしたんですが、公用車は色々な種類があるので、ひやひやしながら乗っていますね。



採用試験に向けてどのように勉強した？いつから勉強した？

佐藤：試験内容はSPI3と面接だったかな。大学3年生の後半くらいから勉強したから、ちょうど1年くらいだと思います。

福田：保育士の方も試験内容は一緒なんですね。僕も試験内容はSPI3だったので、ほとんど独学で勉強しましたね。他には公務員試験対策の無料講習会に通って勉強していました。松尾さんも、僕と同じ高卒で入庁したと思いますが、無料講習とかは通っていませんか？

松尾：そうですね。私も無料講習に通って勉強しました。SPI3に集中して勉強した期間は、そこまで長くないですが、トータルで考えると約1年くらいですね。SPI3は、本屋で

購入した問題集やYouTubeを見て勉強しました。

諸井：私は、大学で公務員試験対策の集中講義を受講したり、あとは自分で冊子を購入したりして勉強しました。あとは民間企業の採用試験をデモンストレーションとして受けましたね。

高校や大学で何に力を入れていた？

松尾：採用面接でも似たような質問があった気がします。私は、学業と部活動の両立に力を入れていましたね。陸上競技部に所属していたんですが、成績を顧問の先生に見せる決まりだったんです。成績が下がると指摘を受けてしまうので、本当に両立を頑張っていました。

諸井：私も採用面接でこんな感じの質問を受けましたね。その時話したのは、大学の講義の補佐をするアルバイトのことだったかな。色々な人に話しかけなければならない仕事だったので、そのアルバイトを始めてから明るく人と接するようになったし、人に話しかけることが以前より得意になりました。その時は大変でしたけど、今となってはやっておいて本当によかったと思っています。

佐藤：僕はサークルですね。バレーボール、バドミントン、あとはいかにも保育士らしいパネルシアターの3つに所属していました。毎日忙しかったけど、最後まで頑張る粘り強さを得た気がします。すごく楽しかったですし、何より今でも繋がりのある先輩や後輩、仲間ができました。



趣味の時間はとれていますか？

佐藤：働く前は、週末は疲れ切って寝ていると思っていたんですけど、意外と週末も動き回っていますね。学生の時よりお金も増えて、できることも増えましたし。そういえば以前好きなアーティストのツアーに応募して当選したんですが、その日が職員会議の日で…。諦めるしかなくなっていたのですが、先輩方にその話を伝えたら、会議をずらしていただけて、ツアーに無事行くことができましたね。

福田：休暇は思っていたよりも取りやすいですね。観光地とかも平日だったら割と空いていますし。

松尾：休暇も取りやすいですが、公務員はそもそも土日祝日が休みだから、友達と遊ぶ予定やライブの予定が立てやすくいいですよ。

受験生に一言！

佐藤：僕は面接が苦手だったので、面接練習をたくさんしました。皆さんもたくさん練習して自信をつけてほしいですね。筆記試験が1回なのに対して、面接は2回ありますし。

諸井：面接に関しては、事前の準備はもちろん大切ですけど、いかに気持ち伝わるかも重要だと思います。ぜひ日高市愛を伝えてください。

福田：筆記試験対策はやればやるほど成長するので、継続して勉強し続けければ大丈夫だと思います。

松尾：仕事を始めてから、もちろん大変なことも多いですが、やりがいを感じています。入庁前に想像していた以上に様々な種類の仕事があり、また仕事を通じてたくさんの人と関わることができます。自分の成長はもちろんのこと、たくさんの方に支えられていることを実感できる、素敵な職場ですよ。

最後に…

先輩職員たちの話は参考になりましたか？皆さんと働ける日を楽しみにしています！